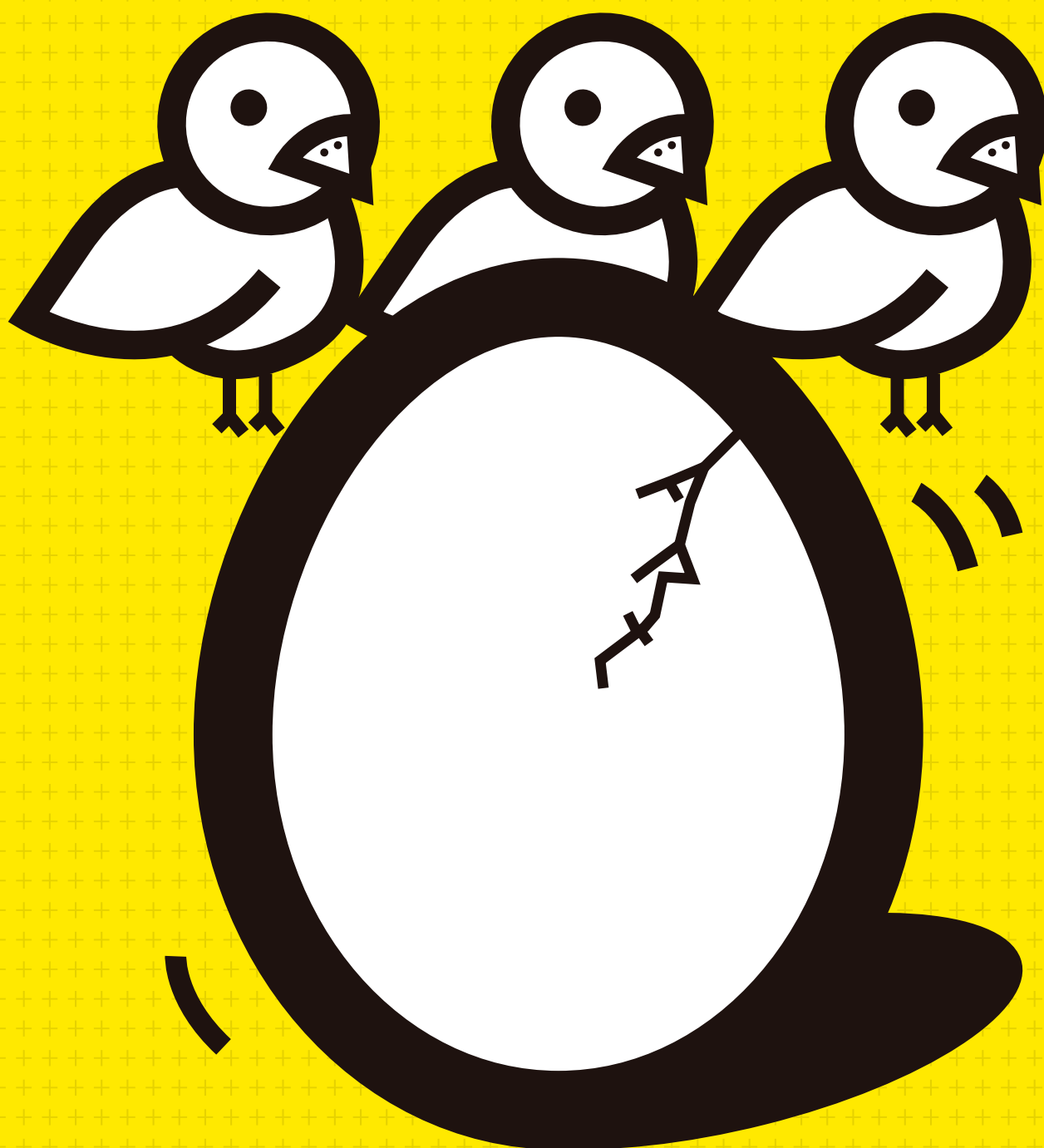


作品募集

応募締切 2021年7月15日(木)

主催：日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

協力：国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)



募集要項(国内応募)

募集要項を必ずご確認ください。

※国外からの応募については、日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト(英語ページ)よりご確認ください。

出品規定 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品

応募資格 次のいずれかに該当する方

- ①作者本人 ②親権者(未成年) ③保護者 ④後見人 ⑤作者から作品の使用権を移譲された法人

応募点数 1作者につき3点以内

出品規格

種類 平面作品(絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真)、立体作品(造形)など。素材やテーマは自由。

【応募できない作品】

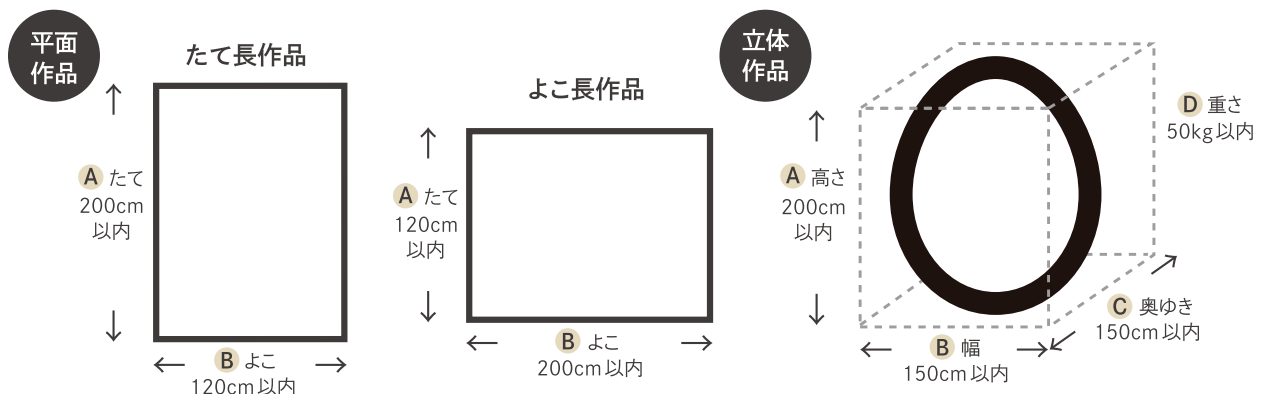
- ・受賞したことのある作品
- ・腐りやすい素材の作品(生花など)
- ・危険物を使った作品(発火物や毒物など)
- ・壊れやすい作品(保管・展示できないもの)
- ・プライバシー権や肖像権、著作権、商標権に抵触する作品
※応募前に、作品に使用して良いかを権利のある人に確認してください。
※応募作品の使用による損害に対して、主催者は一切責任を負いません。

【応募・入選を取り消す場合】

- ・応募用紙受付期間外に到着、または受信
- ・応募用紙の記入事項が足りない
- ・応募作品の写真がない
- ・応募できない作品であることがわかった場合
- ・応募条件を満たしていないことがわかった場合

額装 額装はしないでください。 ※額は壊れやすく、送料(応募者負担)が割高になります。

大きさ・重さ 展示の制約上、以下のサイズを限度とします。



※長い方の1辺200cm以内、2辺の合計320cm以内

※写真作品は、原則4ツ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)以上。プリント方法やサイズも審査対象となります。

応募料金 無料 ¥送料は応募者負担

応募条件 ●入選作品(審査員賞・海外作品賞・入賞・佳作)を主催者に貸し出せること[最長1年間]

●入選作品を以下の使用に同意できること

- ・公募展での展示および広報
- ・作品図録への掲載
- ・主催者の記録
- ・主催者のウェブサイトやSNS、その他メディアなどへの掲載

●出品規定、出品規格、応募条件を確認し、同意すること

審査方法 【一次審査(書類審査)】 応募用紙(A3判1部)で審査します。 ※応募用紙以外の写真や資料は審査対象になりません。

【二次審査(現物審査)】 現物作品で審査します。

入選特典

賞	図録への掲載・贈呈	公募展での作品展示	授賞式へのご招待
審査員賞(6点)・海外作品賞(1点)	●	●	●
入賞(43点)	●	●	—
佳作(50点)	●	—	—

※授賞式は東京都内で開催予定。交通費・宿泊費は主催者負担。 ※入選作品の返送料は主催者負担。

応募用紙
受付期間

2021年7月1日(木)～7月15日(木) <メール受付> 7月15日(木) 17:00 締切

※期間外に到着、また受信した応募用紙は受付できませんのでご注意ください。

応募方法

応募用紙に必要事項をご記入のうえ、封書またはEメールのいずれかでご応募ください。

- ※1作品ごとに応募用紙を1部作成し、必ずコピーしたものを保管してください。応募用紙は返却しません。
- ※応募用紙をコピーして使用する場合は、縮小せず、A3判(もしくは片面ずつA4判 2枚)にコピーしてください。
「作者について」「作品について」にコピーや出力した紙を貼付する場合、読める文字の大きさにしてください。
- ※複数の作品を応募される場合は、1作品ごとに応募用紙1部を作成し、まとめてお送りください。
応募作品の合計数を郵送の場合は封筒裏面に、メールの場合は本文に明記してください。
- ※作品が届いた場合は **¥送料着払いにて返送**します。

応募用紙ダウンロード

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト内
<https://www.diversity-in-the-arts.jp/projects/4contest>



応募用紙記入例 (縮小版)

団体の場合は、担当者名を忘れずに!

単位 (cm, Kg) に注意してください。

応募者情報		※結果通知などの送付先	
応募者名	ふりがな とくいでい えいりかつどうほうじん ゆったりアート 特定非営利活動法人 ゆったりアート 団体の場合は、法人名(施設名・学校名)と、担当者氏名を記入してください	作者との関係 (いずれかに○) 1. 作者本人 2. 親権者(未成年の場合) 3. 保護者 4. 後見人 5. 権利を移譲された法人	作者名(本名) 山田 太郎
住所	〒 530-0099 大阪 都道府県 大阪 市区町村 北区〇〇町12-3-45 XXXXビル6階	電話番号	06-XXXX-XXXX FAX 06-XXXX-XXXX
連絡先	Eメール XXXX-XXXX@XXXX.jp	障害種別	知的 発達・精神・身体・視覚・聴覚・難病・その他()
作者情報			
作者名	ふりがな かわい はなこ 氏名(本名) 川井 花子	ふりがな ふろーら 作家名(雅号) フローラ	生年月日 (西暦) 1980年10月20日 (40歳) 居住地 兵庫 都道府県
作者について (プロフィール、創作活動歴など) 2001年より「ゆったりアート」のアトリエで、創作活動を続けています。 油彩や水彩が多いですが、2年前から造形にも挑戦しています。 グループ作品の場合 1. [作者名]にグループ名を入れてください。 2. 作者全員の名前と生年月日、居住地、障害種別を [作者について]に入れてください。			

応募作品情報		制作年(西暦)	
作品名	ふりがな くらちゃんのおかしな家 クロちゃんのお菓子な家	制作年(西暦)	2019 年
作品種別	<input type="checkbox"/> 絵画(イラスト、グラフィックデザイン、印刷されたものも含む) <input type="checkbox"/> 書 <input type="checkbox"/> 写真 <input checked="" type="checkbox"/> 造形 <input type="checkbox"/> その他()	大きさ・重さ	A 高さ 18.5 cm B 幅 16.6 cm C 奥ゆき 25.6 cm D 重さ 0.95 kg
素材	<input type="checkbox"/> 印刷・絵画・アクリル、クレヨン、画用紙 <書> 墨、画仙紙 <写真> デジタルプリント <造形> 紙粘土、ボンド、タンボール 支持体、印刷方法など 紙粘土、水彩絵の具、ボンド、釘、板	作品について (作品のPRポイントや制作した時の様子など)	作者本人以外の方が記入する場合 記入者名 [山田太郎(施設スタッフ)]

読めるように文字は大きく!

作品写真は必ず枠内に入れてください!



枠内に追加できる写真

・両面作品の裏面の写真 ・正面以外の角度からの写真 ・作品の一部を拡大した写真 など

応募用紙
送付先

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 係

郵送 〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町 13-38 千代田ビル北館 4F-E

メール contest@diversity-in-the-arts.jp

※作品の送付先ではありません。一次審査を通過した方に作品の送付先をお伝えします。

個人情報
の取扱

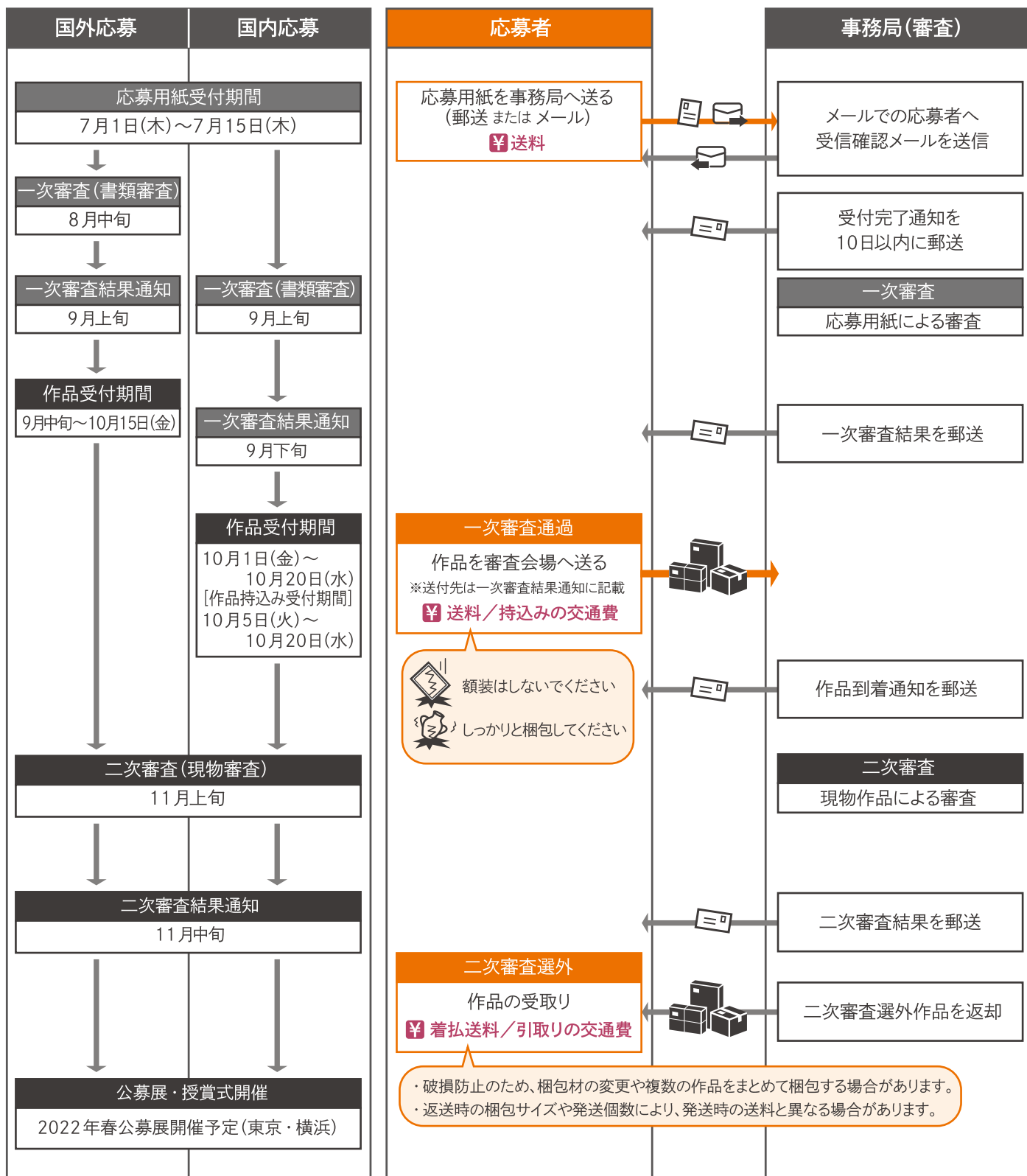
記載の個人情報は、以下の利用目的の範囲で利用させていただきます。

- ①本公募事業に関する連絡、作品および資料送付、本公募事業並びに日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS (以下主催者) が実施するその他事業のご案内(次年度以降も含む)。
- ②本公募展、本公募入選作品図録、主催者が発信する情報媒体、メディアでの作品名および作者名(雅号)掲載。
- ③本公募事業のために必要な業務、および主催者が実施する事業向上のための調査、分析。
- ④本公募事業並びに主催者が実施するその他事業において、契約等により適切な管理・保護監督のもと、利用目的達成に必要な範囲内で業務委託先への提供。

※利用目的以外の目的で利用する場合は、法令に基づく場合をのぞき、応募者の同意を得た上で利用します。

公募展の流れ

¥ は応募者負担



ご注意 一次審査を通過していない作品が届いた場合は、着払いで返送します。 ¥ 送料

■入選作品の返却

佳作	2022年1月中旬
審査員賞・入賞	2022年5月

応募用紙

※1 作品ごとに応募用紙を1部作成し、必ずコピーしたものを保管してください。応募用紙は返却しません。

応募者情報			
応募者名	ふりがな		作者との関係 (いずれかに○) 1. 作者本人 2. 親権者(未成年の場合) 3. 保護者 4. 後見人 5. 権利を移譲された法人
	団体の場合は、法人名(施設名・学校名)と、担当者氏名を記入してください		
住所	〒 都・道 市・区 府・県 町・村		
連絡先 日中つながる電話等	電話	FAX	
	Eメール		
作者情報			
作者名	ふりがな		ふりがな
	氏名(本名)		作家名(雅号) ※使用される方のみ記入
生年月日	(西暦) 年 月 日 (歳)	居住地	都・道 府・県
障害種別 該当項目に○	知的・発達・精神・身体・視覚・聴覚・難病・その他()		
作者について (プロフィール、創作活動歴など)			

事務局使用欄 ※受付・審査の処理に使用しますので、ここに記入しないでください。

応募作品情報	
作品名	ふりがな
作品種別 該当項目に☑	<input type="checkbox"/> 絵画(イラスト、グラフィックデザイン、印刷されたものも含む) <input type="checkbox"/> 書 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 造形 <input type="checkbox"/> その他()
大きさ・重さ	A たて(高さ) : B よこ(幅) : C 奥ゆき ※立体作品のみ : D 重さ ※立体作品のみ : : : : : : : : : cm : cm : cm : kg
素材 支持体、印刷方法など	例) <絵画>アクリル、クレヨン、画用紙 <書>墨、画仙紙 <写真>デジタルプリント <造形>紙粘土、ボンド、ダンボール
作品について(作品のPRポイントや創作した時の様子など) ※入選の場合、「作品について」の内容を図録や公募展で公開することがあります。	作者本人以外の方が記入する場合 記入者名 []

上

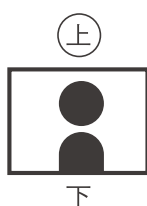
この枠内に応募作品の全体がわかる写真を必ず貼付してください。

写真が貼付されていない場合は受付できません。

- ・作品の正面がわかる写真を貼付してください。
- ・たて長の写真は、写真の上側が左になるように貼付してください。
- ・作品の上下がわかるように、上側になる 上 に○をつけてください。
- ・造形の側面や裏側の写真を追加する場合は、この枠内に貼付してください。

上

下



よこ長写真



たて長写真

下



photo by KAMADO

秋元 雄史

Yuji Akimoto

練馬区立美術館 館長

1955年東京都生まれ。東京藝術大学美術学部絵画科卒業後、1991年よりベネッセアートサイト直島のアートプロジェクトに関わる。2004年より地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・アーティストティック ディレクターを兼務。2007年～2017年3月まで金沢21世紀美術館館長。「金沢アートプラットフォーム2008」、「金沢・世界工芸トリエンナーレ」、「工芸未来派」、「井上有一展」等を開催。2015年4月～2021年3月東京藝術大学大学美術館館長。2017年より東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員会委員。2018年4月～練馬区立美術館館長。



上田 バロン

Baron Ueda

FR/LAME MONGER 代表/イラストレーター

京都の西陣織職人の祖父の家系に生まれる。2000年よりデジタルツールを駆使した硬質なボールドなラインを使い、ブランド化されたバロン目を持ったキャラクターイラストレーションを描く。フラットな表現でありながらアグレッシブな奥行きを感じる構図、そしてポップ&トゥーンスタイルが支持されている。広告や出版、ゲーム、メディアや巨大壁画など国内外で幅広く展開。幻冬舎「会話型心理ゲーム人狼」シリーズのキャラクターデザインがある。京都の茶室にシルクスクリーンプリントで仕上げた大作「Hachi」をはじめ、風神雷神図や黄金の舞妓図など日本の伝統技術と箔とデジタル表現を使った作品を生み出す。LIMITS世界大会2017で世界3位。玄光社より上田バロン初作品集「EYES」発売。



エドワード M. ゴメズ

Edward M. Gómez

RAW VISION 主任編集者

アートジャーナリスト、評論家、キュレーター、グラフィックデザイナー。ロンドンに拠点を置くアウトサイダー・アートマガジン『RAW VISION』の主任編集者であり、アメリカの雑誌『ハイパーアレルジック』のライターでもある。『ニューヨーク・タイムズ』、『アート+オークション』、『メトロポリス』(アメリカ)、『フォーク・アート・マガジン』、『ジャパントイムズ』(東京)、『リフォーマ』(メキシコシティ)、『ジャマイカ・オブザーバー』(キングストン)や、その他の多くの出版物に記事や写真を提供している。彼が新しく制作した、アーティストであるバルトン・タイラーについての映画は2017年に公開された。ニューヨークと東京を拠点に活動中。スイス・ローザンヌのアル・ブリュット美術館諮問機関員を務める。



中津川 浩章

Hiroaki Nakatsugawa

美術家/アートディレクター

美術家としての制作活動と同時に、さまざまな分野で社会とアートの関係性を問い直す取り組みを行う。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史ワークショップ、講演等を通じて人間が表現することの意味、大切さを伝えている。アートスタジオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーションを数多く手がけ、川崎岡本太郎美術館「岡本太郎とアル・ブリュット」展キュレーター、「ビッグ・アイアートプロジェクト」展覧会アートディレクター等々務める。(同)表現活動研究所ラスコー代表、一般社団法人Art InterMix 代表、一般社団法人Get in touch 理事、認定NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル理事、NPO 法人エイブル・アート・ジャパン理事。



永野 一晃

Ikko Nagano

写真家

公益社団法人日本写真家協会(JPS)会員・京都読売写真クラブ代表・フォトコンテスト審査員等。1945年京都市生まれ。印刷会社企画部勤務を経てフリーの写真家。京都を中心に、骨董美術品・建築・料理・伝統工芸・人物ルポなどを撮影し出版物・雑誌に発表している。



望月 虚舟

Kyoshu Mochizuki

書家

1949年、姫路市生まれ、新潟大学教育学部書道科卒業。現在姫路市立好古学園中学校講師、毎日書道展関西展実行委員。毎日書道展運営委員、大賞選考委員を経て、現在に至る。近畿地区独立書人団近畿地区統括、姫路美術協会運営委員、毎日書道展大賞受賞、(公財)独立書人団会員賞受賞、虚舟書法会会長として活躍中、作品揮毫、作品解説を通じて、書の臨書感、創作感を講話、研究集録などを通じて、自論を展開している。著書『コツがわかれば誰でも書ける』など。

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展とは

日本財団が進める「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS (ニッポンザイダン ダイバーシティ・イン・ジ・アーツ) プロジェクト」は、「障害者と芸術文化」の領域への支援を通して、誰もが参加できるインクルーシブな社会の実現を目指すプロジェクトです。

既成の形式にとらわれない多彩な展覧会などの企画、積極的かつ横断的な情報発信等、多様性の意義と価値を広く伝える様々な事業を実施しています。

公募展事業は、本プロジェクトの一環として実施する事業です。

アートを通じて障害のある人、ない人、全ての人々の交流を促し、感動やよろこびを共有しながら、障害のある人自身が自己の可能性を見いだせるよう、アート活動の機会を提供するとともに、才能あるアーティストの発掘や、障害のあるアーティストの活動の支援を行い社会へ発信しています。

お問合せ 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 係

[事務局] 特定非営利活動法人 ^{キューアーツ} CUE-Arts

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町 13-38 千代田ビル北館 4F-E
TEL 06-6940-6767 (土日祝を除く 10:00~17:00) FAX 06-6940-6768
メール contest@diversity-in-the-arts.jp

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」
<https://www.diversity-in-the-arts.jp>